

## 令和2年度事業報告

### 1. 事業の概要

令和2年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により正に国難というべき局面に直面し、様々な分野における経済活動に影響を及ぼし、休業者が大幅に急増するなど雇用情勢は極めて厳しい状況に置かれました。

千葉県にあっては、令和2年4月及び令和3年1月に緊急事態宣言が発令されたことを受け、いわゆる「三密」の回避や不要・不急の外出自粛の徹底が呼びかけられたことから、本市においてもイベントの自粛や夏季海水浴場の開設中止など新型コロナウイルス感染症の感染拡大の抑制を最優先に対策を徹底してきました。

こうした中、当センターは、請負・派遣事業の収益、市からの補助金、国からの交付金により実施しており、補助金、交付金については、国や地方の厳しい財政状況の中でご理解・ご支援をいただいで運営をおこなっております。

当センターの受託事業収入は33,547,456円であり、前年度比較で2,719,911円、7.5%の減となりました。

市・県等の公共事業と民間事業が共に減少し、また、受託件数も減少していることは、新型コロナウイルス感染症による経済活動の縮小が大きく影響しているところです。いつ終息するのか不透明な状況が当面続くものと思われ、当センターの会員の就業機会の確保が、公共、民間を問わず大変危惧されるところであります。

一方、我が国では少子高齢化が加速しており、国内の生産年齢人口の減少による労働者不足が見込まれることなどから定年延長や年金受給開始年齢の引上げ等の対策が進められています。このように、高齢者を取り巻く社会経済状況は大きく変化していることから、当センターへの加入者も減少しており、会員増強が困難な環境となっております。

今後においても、会員減少の解消が益々困難な状況にありますが、平成13年3月に任意団体として発足以来20年が経過し、シルバー人材センターが果たす地域の役割の重要性と地域社会の期待はますます高まっています。このため、センター基本理念に基づき、安全就業に徹底し、会員生きがい・社会参加の場として、会員相互の連携やお客様の信頼性の向上を図りながら、地域の日常生活に密着した仕事を提供する事業を推進してまいります。

令和2年度事業実績（前年度比較）

項目／年度	令和2年度	令和元年度	増 減	
			(件数・金額・人)	(%)
会 員 数 (人)	140	145	▲5	▲3.4
受 託 件 数 (件)	1,305	1,352	▲47	▲3.5
受託事業収入 (円)	33,547,456	36,267,367	▲2,719,911	▲7.5
内訳：公共 (円)	10,829,659	12,424,802	▲1,595,143	▲12.8
民間 (円)	22,717,797	23,842,565	▲1,124,768	▲4.7
就業延日人員 (人)	12,679	13,048	▲389	▲3.0
就業実人員 (人)	107	110	▲3	▲2.7
就 業 率 (%)	76.4	75.9	0.5 ポイント	
派遣事業				
受 注 件 数 (件)	3	4	▲1	▲25.0
契 約 高 (円)	1,396,982	1,974,120	▲577,138	▲29.2
就業延日人員 (人)	167	245	▲78	▲31.8

※派遣事業については、県連合会との契約のため、参考数値として表記した。

(1) 会員の確保と就業機会の拡大

令和2年度における新規加入会員は11人、退会者16人で令和3年3月31日現在の会員数は140人となり、前年と比較し5人減の会員数となりました。

退会の主な理由は、疾病や加齢によるものが主な要因となっています。

また、会員の増加を図るため、役職員、会員による紹介、会報・市広報誌・市役所掲示板にチラシの掲示及びホームページの活用によりセンターのPRに努めました。

(2) 安全就業対策

会員の安全就業と健康管理のために、年2回発行の会報と安全就業だよりを配付して事故を未然に防止するための啓発、就業現場の安全パトロール実施など安全就業意識の高揚を図り事故防止に努めましたが、年度中に、賠償事故2件が発生し、前年度と比較して2件減という状況になりました。

発生した事故はちょっとした心がけで未然に防止できたケースがほとんどでしたので、今一度、初心に立ち返り、「就業の安全確保」が最優先の課題であることを心に刻み、安全就業に心掛けていただく必要があります。